



北海道に初夏の訪れを告げる風物詩「YOSAKOI ソーラン祭り」も終わり、札幌の街にもいよいよ夏の気配が感じられるようになりました。

今年は、白ゆり幼稚園の教師の中から、のぞみ先生とさやか先生がそれぞれのチームで参加し、元気いっぱいのパフォーマンスを披露しました。会場には白ゆりっ子達も駆けつけ、「先生、がんばって！」と黄色い声援を送ってくれたようです。

子ども達にとって、いつもの先生が大きな舞台上で輝く姿は、きっと特別な思い出になったことでしょう。そして、二人の教師にとっても、子ども達の声援は何よりの励みになったはずです。

何かに夢中になり、仲間と力を合わせて表現する姿は、まさに子ども達に伝えたい大切な学びそのものですね（笑）



☆☆☆ATTENTION☆☆☆

来週は、それぞれの学年で「お弁当 DAY」があります。
年間行事予定でお子さんの「お弁当 DAY」の日程をご確認下さい。

♪♪♪大空と大地の中で♪♪♪

年長児の初夏の社会見学は、札幌の観光名所の一つ「大倉山ジャンプ台」へ！ 観光客が楽々とリフトで頂上を目指す中、もちろん白ゆりっ子達は「自分の足」で頂上を目指します。青々と木々が生い茂る中、森林浴を楽しみながらおよそ20分のプチ登山。一步一步力強く登りましたよ（笑）

頂上に着くと、眼下には雄大な札幌の街並みが広がります。水筒の冷たい水で喉を潤おしながら眺める景色は、まさに松山千春さんの名曲「大空と大地の中で」の世界… 北海道の大きな空と雄大な大地を全身で感じた、心に残る社会見学になりました（笑）



♥♥♥何色に染まるかな…？ 年中児の「ワクワク TIME」♥♥♥

年中児達の「ワクワク TIME」は「靴下染め」に挑戦！ ペットボトルの中にはそれぞれのクラスカラーの絵の具が… 丸めた靴下を絵の具に浸しながら「どんな色に染まるかな？」「綺麗な色になるかな？」と、子ども達の表情は期待でいっぱい（笑）

最近人気の「タイダイ柄」の魅力は、同じ染め方をしても一つとして同じ模様にならないこと… にじみ方や重なりが、世界で一つだけの作品を作り出してくれます。出来上がるまでわからない「ワクワク感」を味わいながら、色の不思議さや表現する楽しさを存分に楽しんだ年中児達でした（笑）

「園長先生、髪の毛無いね！」

園長の似顔絵 ～よく観（み）て、真似て、表現する力～

先日、年少児クラスから「園長先生、年少児クラスの教室に来て下さい」と… 「何かあったのかな？」と教室に行くと、そこには画用紙とクレヨンを手にした子ども達の姿が… 「これから園長先生の似顔絵を描くので、子ども達に顔をよく見せてあげて下さい」 教室に入ると子ども達の視線が一斉に園長に向けられます（笑）

「園長先生の顔はどんな形かな？ 丸かな？ 三角かな？ 四角かな？」「目はどこにあるかな？ 鼻は？ 口は？ 眉毛は？」「メガネもあるね！」「髭もあるね！」「髪の毛は… 無いね！」（涙）

子ども達は園長の顔をまじまじと見つめながら画用紙に向かってクレヨンを走らせます。ちらっと園長の顔を見て、描く、もう一度確認して、また描く… その繰り返しのうちに、年少児なりの一生懸命な「学び」の姿がありました。

幼児期の「学び」は「真似」から始まります。先生の動きを真似る！ 友達遊び方を真似る！ 年長児（できている）の姿を真似る！ 今回は目の前にいる園長の顔をよく観（み）て、その特徴を真似ながら描いていきます。

「真似」と聞くと大人は「同じことをするだけ」と考えてしまいがちですが、子どもにとっての「真似」は、決して“受け身”の行動ではありません。よく観（み）る、違いに気付く、形を捉える、位置を考える、自分の手や体を動かして表現する… そこには子どもなりの“観察力・思考力・表現力”がしっかりと働いているのです。

「上達」の近道は「良い真似」から始まります。真似るからこそ「観（み）る力」が育ちます。真似るからこそ「手や体の動かし方」がわかります。真似るからこそ「こうかな？」「ここかな？」と考える力が育ちます。

年少児にとって、似顔絵はまだまだ思い通りに描けるものではありません。顔の形も目の位置も、大人から見ると不思議に見えるかもしれません。でもその一つひとつの絵の中に、子ども達が一生懸命に観（み）て、真似て、表現しようとした成長の跡があります。

メガネも髭も、大きな目で描いてくれた子、ニコッと優しい表情で描いてくれた子、髪の毛を多めに描いてくれた子も…（笑） 子ども達の似顔絵には、技術では計れない“温かさ”があります。そして、その温かい絵の中には、幼児期の“学びの原点”である「よく観（み）て、真似て、やってみる！」という大切な姿が詰まっています。

これから子ども達は、遊びの中、生活の中で、友達や先生の姿をたくさん真似しながら成長していきます。

＊真似ることは“学びの入口” ＊繰り返すことは“上達への道” ＊自分なりに表現することは“心の成長”

年少児達が描いてくれた園長の似顔絵には、子ども達の可愛らしさだけでなく「観（み）て学ぶ」「真似て育つ」「自分なりに表現する力」がしっかりと育ち始めていると感じる時間でした（笑）

「園長先生の髪の毛、どうしよう… そのまま描いたら可哀想かな？ ちょっと多めに描いた方が喜ぶかな…」

髪の毛を描く段階で、頭を抱えて悩んでいるたんぼくみの女の子… そんな優しい葛藤も、年少児らしい可愛らしさであり、心の育ちの一面ですね（笑）